令和４年度 第１回学校関係者評価委員会

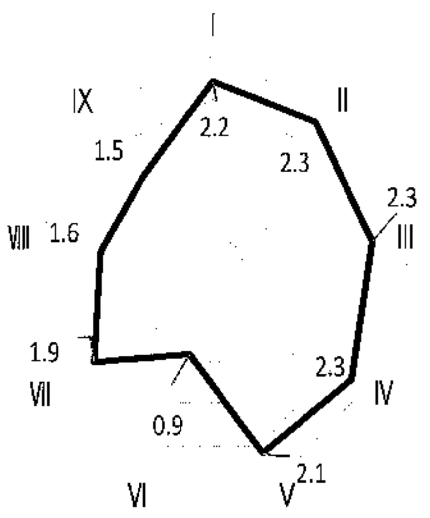
日時：令和５年３月９日　13：15～14：00
会場：本校校長室・ハイブリット開催

内　容：
1. 委員会設置の経緯
2. 委員長挨拶
3. 自己点検・自己評価等について
4. 今後の学校評価について意見交換（抜粋）
評価委員の皆様から下記以外にも多くのご意見をいただきました。

（委員長）	学生募集に関しては、どの程度学校の魅力を発信できるのかが課題となる。そのためには学校の要望を聞いて、その要望に応えていくのも必要ではないか。もっと若い人の意見を取り入れる。
（委員）	文科省は学校評価については 20 年前から行っている。学校評価は自己評価しておわりではなく、具体的な対策を立てておくことで次につながりやすい。地元の学生が地元で就職するために、入学者を増やしていくことが課題となる。他校では、学生寮が魅力となっている。
（委員）	町では市役所の広報を町内全戸配布している。その中で他校の学生募集のチラシも年１回配布している。当校からの要望があれば協力したい。当地区協議会等で情報交換できるようにすればよい。
（委員）	担当している講義で学生アンケートをとっている。内容は認定看護師や特定看護師にどの程度興味・関心があるかということであるが、認定看護師及び特定看護師について、どちらも５割の学生が「興味をもっている」、３割の学生が「大変興味をもっている」と答えている。このことから、カリキュラムの中に認定看護師や特定看護師についての内容を入れると学生の関心が増すのではないか。
（学校長）	自己点検・自己評価のデータでは、当校の教育理念・教育目標に対し理解されていないのが残念。ホームページ上で誰でもが共有できるように教育理念・教育目標を載せてはどうか。若い人はＳＮＳで情報収集するが、紙媒体でも情報収集できるようにしていくとよい。学生寮については医師会に伝える予定。
（委員）	高校訪問がどのくらい効果がでているのか検証する必要がある。他校を決める理由を見ていくことも大事。実習費が安い、学生寮がある、寮費が安いなどの魅力は大きい。

当校　自己評価・自己点検　集計結果

自己評価・自己点検



Ⅰ	教育理念・教育目的
Ⅱ	教育目標
Ⅲ	教育課程運営
Ⅳ	教授・学習・評価課程
Ⅴ	経営・管理課程
Ⅵ	入学
Ⅶ	卒業・就職・進学
Ⅷ	地域社会／国際交流
Ⅸ	研究

3：当てはまる　　2：大体当てはまる　1：当てはまらない